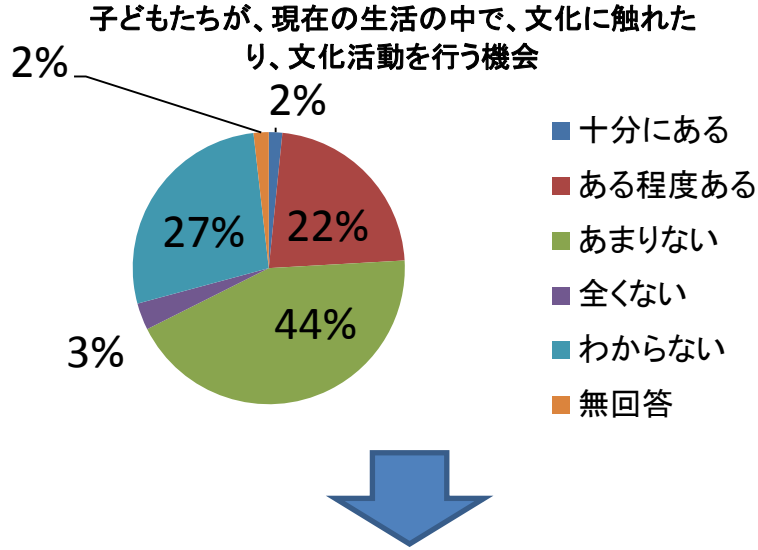


アート交流事業

第2次堺市文化芸術推進プラン、アンケートより

子どもの文化芸術体験について重要だと思う割合…88%



目的

堺市内にある保育所の園児と、堺市ゆかりのアーティストによるワークショップをし、アートを通じての交流を行うことにより、堺で活躍するアーティストへの理解を深めてもらうことや、アートで豊かな心と感性を育むことができる環境づくりを進めることを目的とする。

堺市では

【内容】

3才～5才を対象とした、堺市ゆかりのアーティストと一緒に作品を協働制作し、完成作品を公共施設で展示する。

子ども達への効果

アートで豊かな心と感性を育むことができる環境づくりを進めることで、ワークショップや、芸術家との交流など、文化芸術に親しむ機会が増える。

堺市への効果

保護者等の若い世代が、展示施設へ来る動機づけとなる。

参考事例

高松市の活動

高松市内の保育所に若いアーティストを派遣し、子どもたちに芸術と触れる機会を提供するため、「瀬戸内国際芸術祭」開催に向けた活動にかかわるNPO法人に委託し、事業を実施している。事業内容は、子ども・アーティスト・保育士が共に素材やテーマから学び、発見し、子どもたちの豊かな感性と創造性を引き出すことをしている。

レッジョ・エミリアの活動

幼児教育の場において40年にわたり実践され、近年欧米の著名幼稚園を中心に世界中で注目されている教育アプローチです。子どもたち1人1人の意思を尊重し、個々に持つ感性を生かすことが最も重要であるという理念の下、常に子どもが学ぶ権利を考え、コミュニケーションのとり方、その為の環境を重視した教育現場を作り上げています。